

# あなたも仲間になりませんか？

## 尾張健康友の会

### ご紹介



## 元気づくり

## 幸せづくり

### 尾張健康友の会

一宮市千秋町塩尻字山王 7-5

☎0586-76-8312

### 千秋病院

一宮市千秋町塩尻字山王 1

☎0586-77-0012

### 介護老人保健施設ちあき

一宮市丹陽町重吉新田裏東切 1077-1

☎0586-76-8100

### 医療法人 尾張健友会

一宮市千秋町塩尻字山王 7-5

☎0586-76-0003

### 社会福祉法人 尾張健友福祉会

一宮市丹陽町重吉新田裏東切 1070-6

☎0586-81-7013

### 有限会社 尾張健友サービス

一宮市千秋町塩尻字山王 7-5

☎0586-81-8221

## 尾張健康友の会の成り立ち

「私たちの命と健康を自分たちで守ろう」と作られた「民主的地域医療をすすめる会」が1984年に「尾張健康友の会」に改称した組織が尾張健康友の会です。

「いつまでも健康でいたい」「病気になっても安心して医療や介護を受けたい」というのが私たちの願いです。

## 友の会の目的

会則二条で「医療法人尾張健友会および尾張健友福祉会と協力して健康づくりを進め地域医療の民主的な発展と福祉の充実に努めること」を目的と定め、

①班会などで健康に関する認識を深め、健康づくりを進めます。

②地域の住民や働く人達と協力してお互いの生活と権利を守り、社会保障制度の充実と親切な良い医療の発展に努めます。

の二つの事に取り組んでいます。

地域ごとに支部を作り、民医連綱領に基づいた地域活動を健友グループの一員として進めています。

千秋・岩倉・稲沢・尾西・一宮西部・北名古屋の6支部、90の班が活動をしています。

毎月「ふれあいバザー」を開催し、住民や職員との交流を深めています。



## 共同する尾張健友会グループの医療

医療法人尾張健友会・千秋病院は、西尾張地域の人びとの「自分たちの病院をつくろう」という思いを結集してつくられた病院です。

1984年小病院からスタートして現在は294床の病院まで発展してきました。

急性期から慢性期まで幅広く地域の要求に対応した医療福祉の複合体として成長してきています。

## 急性期医療の充実と向上

急性期医療をコアに予防からリハビリまで、遠方に行かなくても身近なところで普段着でかけられる病院です。

保健・医療・介護・福祉のネットワーク

一人一人の人権を尊重しあうことを大切にしています。「いつでも安心、いつでも信頼」トータルな支援体制で生きる力を支えます。



## 友の会の活動

班会・健康学習の企画などの健康づくりの取り組みや生活と権利を守り、社会保障制度の充実と親切的な良い医療の発展に向けて学習や活動を行っています。

### 活動内容 班を基礎に地域で活動

「班」をつくって健康づくり 班は、地域の交流・助け合いの場

3人の会員さんで班をつくれます。班のメンバーが集まる場が「班会」です。気軽に集まり、健康チェックや病気の学習、健康体操・ハイキングなどの健康づくりなど、仲間と楽しみながら、生活の質を高める活動を行います。多彩な班会メニューを準備しています。

近所づきあいが少なくなり、高齢者世帯が増え、家族が小さくなって、地域力が弱ってきた中で、消えつつある家庭の保健力・くらしの知恵を、隣近所の協力の力で取り戻す場です。

学びあい・助け合う、それが「班」です。



### 健康づくり



健康チェックと健康づくり

「健康チェック」や「健診」データをもとに、自分に合った健康づくりをすすめましょう。

友の会では、千秋病院と連携して、ストレッチ・セラバンド・バランスボールなどの健康体操やフェーストレーニング・認知症サポーター養成講座など会員さんの学習・健康づくりを応援しています。

病気が気になりだしたら、千秋病院にご相談ください。

「健康チェック・健診データで健康づくり、健康不安には病院。これが友の会の健康づくりです。

### 安全・安心のまちづくり

各自が班会などで健康づくりを進めていても、私たちを取り巻く環境が良くなければ、安全・安心で暮らすことはできません。

社会保障や平和といった事柄から、地域での事柄まで「安全・安心のまちづくり」に向けた様々な問題に取り組んでいます。

地域で助け合いの活動をすすめています。

困りごと相談窓口や生活支援、たまり場づくりを進め、ひとりぼっちをなくす為の取り組みを行っています。

会員の自宅に「相談窓口」のステッカーを貼り、医療・介護・福祉の相談を受けています。また、無料法律相談もご利用できます。



各地域で班会やたまり場づくりを進めています。あなたも加わってみませんか。

## 社会問題にもとりくみます

### 平和のとりくみ

核兵器も原発もない世界をつくり

平和な戦後を終わらせない

核兵器廃止は国際的な世論になっています。

ノーモア広島・ノーモア長崎と毎年、核兵器廃絶を求めるとりくみを進めています。

3月の3・1ビキニデー、6月の平和行進、8月の原水爆禁止世界大会(広島・長崎)に参加しています。また、8月には平和盆おどりや9月の平和のつどいで平



和を考える機会を持っています。「核使用に平和なし」原発反対の学習会や運動と原発ゼロの運動、被災者支援運動などもすすめています。6月の平和行進が行われ千秋病院の休憩場所では多くの友の会会員・職員・患者・利用者が行進に加わります。

### 地域・医療・介護・福祉へのとりくみ

安全で安心の医療・介護・福祉を受けることや地域の問題を解決して良くしていくことは友の会の目的の一つです。

地域の問題を自治体に訴え改善を求めたり、地域の中で解決する輪に加わったり、医療・介護・福祉の改善を国に求めたりなど様々な行動を行っています。



健友会基金(一口 1,000 円、無利息・無期限)にご協力ください。

#### 健友会基金とは

友の会が共同している、医療法人尾張健友会(千秋病院・老健ちあきなど)の基本資金のひとつが健友会基金です。

土地・建物の拡充、医療機器の購入などに使われます。

健友会基金は寄付金ではありません。利子、配当は付きませんが、退会される場合は全額お返ししています。



ゆたかな老後のささえあい いっしょにはじめませんか

### 「安心の健康づくり・医療・介護・福祉のネットワーク」

もしもの時に対応できる老健施設・ケアハウス・特別養護老人ホームなどの高齢者施設づくりをはじめ、地域での小規模デイサービスや小規模多機能型居宅介護サービスの展開、宅老所、救急医療情報入れの普及など、「高齢者が安心して住み続けられるまちづくり」をすすめています。

尾張健友会と協同で「高齢者の健康づくり・医療・介護のネットワーク」を広げます

# 尾張健康友の会会則

## 第一条 名称と所在地

この会は「尾張健康友の会」と称し、事務所を一宮市千秋町塩尻字山王7-5におきます。

## 第二条 目的と事業

医療法人尾張健康友会および尾張健康友福祉会と協力して健康づくりを進め地域医療の民主的な発展と福祉の充実に努めることを目的とし、次の事業を行います。

- ①健康に関する認識を深め、健康づくりを進めます。
- ②地域の住民や働く人達と協力してお互いの生活と権利を守り、社会保障制度の充実と親切な良い医療の発展に努めます。

## 第三条 会員

- ①この会の目的に賛同する人は、加入申込書を提出して会員となります。
- ②会員は「健友会基金」に応募することができます。
- ③退会を希望する人は、申し出により退会することができます。

## 第四条 会員の特典

- ①地域の班活動を通じて健康チェックなどの健康づくりに参加出来ます。
- ②班や配布ルートを通じて友の会ニュースが配布されます。
- ③会の各種行事に参加出来ます。
- ④医療や医療費に関すること、生活・法律・福祉など各種相談が受けられます。
- ⑤その他の特典があります。

## 第五条 組織

- ①この会の基礎は「地域の班」とします。
- ②班がまとまって支部を設けることができます。

## 第六条 役員

- ①本部には「会長」「副会長若干名」「事務局長及び次長若干名」をおき三役会を構成します。また幹事をおき三役を加えて幹事会を構成します。
- ②班には班長及び必要な係をおきます。支部は支部長と必要な役員をおきます。

## 第七条 会議

- ①定期総会は年一回行います。総会は活動報告を行い、新年度の方針・役員決定・会則の改廃等を決めます。
- ②三役会・幹事会は必要に応じて行います。
- ③班会・支部会議は必要に応じて行います。

## 第八条 財政

この会の財政は事業収入・寄付金・尾張健康友会の支出で運営します。

## 第九条 実施

- |            |    |
|------------|----|
| 1984年9月16日 | 実施 |
| 1995年3月19日 | 改訂 |
| 2001年3月25日 | 改訂 |
| 2002年3月31日 | 改訂 |
| 2019年5月18日 | 改訂 |